

令和7年度外部評価会 集計表(農業者用)

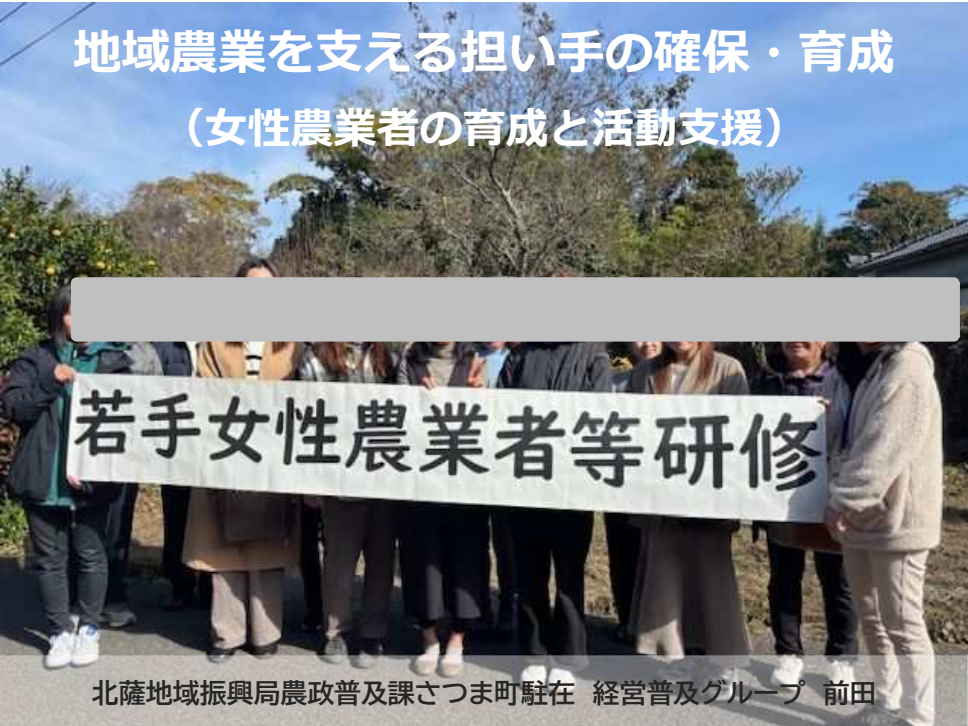
所属名：北薩地域振興局農政普及課さつま町駐在

課題名① 地域農業を支える担い手の確保・育成(女性農業者の育成と活動支援)						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	4	0		・女性でないとだめです。農業であっても地域であっても同様と思います。 ・労働力不足がいわれるこの頃ではとても重要課題だと思います。	・継続して課題に取り組む。
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	4	0		・もっと地域にも農業者はいると思うので頑張っって掘り起こしてほしいです。	・継続して掘り起こしを行い、対象名簿を整理していく。
活動体制・ 活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	3	1		・それぞれ業種が違うのでとりまとめるのは大変だと思いますが、もう少し計画性をもって取り組んでほしいです。	・若手女性農業者は出産・子育て期でもあることを配慮しながら予定を組むようにしているが、それぞれ農繁期等も異なるため、なかなか日程どおりの計画ができないので、少人数でも開催して、回数を増やすなど工夫をする。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	2	2			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	2	2			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	1			
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	1			
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	2			

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

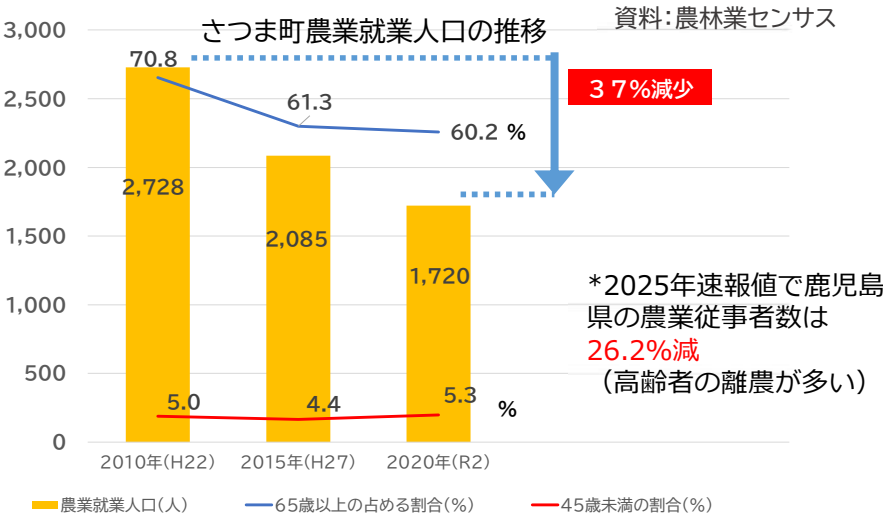
所属名: 北薩地域振興局農政普及課さつま町駐在

課題名① 地域農業を支える担い手の確保・育成(女性農業者の育成と活動支援)						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	5	0		・女性が活躍できる社会づくりは長年の課題だと思います(特に鹿児島県は)。農業分野における女性の経営感覚は非常に重要だと考えますので、これからも継続した活動支援に地域一体となって取り組んでほしいと思います。 ・女性の力は大きいものと考えます。活躍の場が広がりますようご指導ください。	・継続して課題に取り組む
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	4	1			
活動体制・ 活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	2	3		・若手女性の参加に必要な施策(ゆるやかな)、子育てや仕事等で多忙など理由は様々あるが、農業をしているという自覚が育つ研修等を多く実施してほしい。 ・認定農業者会女性部の活性化、さつまファームレディ倶楽部ユース部の新設など、既存組織の活用も検討していただきたい。	・次年度も若手女性農業者を対象に継続して研修会を開催する。 ・既存組織についても若手女性農業者を応援する組織として支援を行いながら、検討を行う。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3	2			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3	2			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	2		・子育て世代の出会いやすい環境づくりの創出を ・改善の必要はないと思います。今後の効果発現を期待します。	・SNSを活用した小まめな情報発信と出会いやすい研修会を開催する。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	4	1			
活動の 波及性 と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	2		・新規加入者の掘り起こしを。 ・嫁世代等の若手の交流を。	・若手女性農業者の掘り起こしによる名簿整理と、女性農業者の交流が図れるよう研修を組んでいく。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	3			



北薩地域振興局農政普及課さつま町駐在 経営普及グループ 前田

01-1 活動の背景 農業就業人口が激減

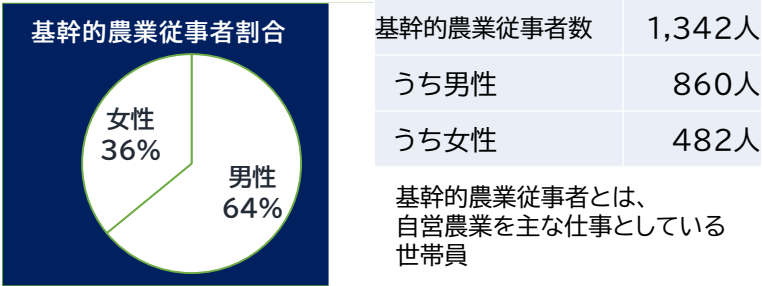


R2年の農業就業人口は10年間で4割減少+うち約6割が65歳以上

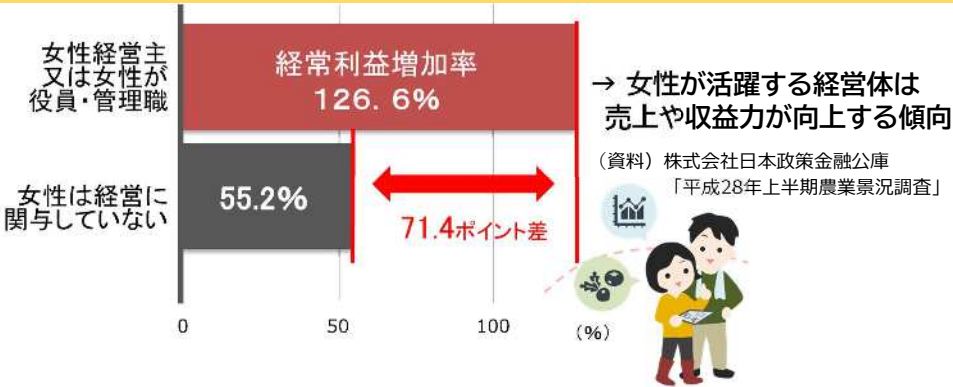
01-2 活動の背景 女性農業者の減少

女性農業者の割合 46% → 40%へ
令和元年度食料・農業・農村の動向から(農林水産省HP)
○農村地域の女性人口は近年減少, そのうち子育て世代(25~44歳)の減少が顕著で, 男性より女性の減少が大

さつま町の女性農業者の割合は36% 資料:農林業センサス2020



01-3 活動の背景 女性農業者の活躍



今後の農業の発展、地域経済の活性化のためには、多彩な能力を持つ女性農業者が力を発揮していけるようにすることが必要

女性農業者の活躍推進・次世代女性農業者の育成は喫緊の課題

02-1 活動支援体制図



★それぞれの役割 + チームを組んで支援(総合力の発揮)

02-2 活動支援体制

チームで支援



03 活動内容及び対象

1 若手農業者の経営発展支援

- (1)新規就農者の定着支援
- (2)青年農業者の課題解決能力向上支援

2 認定農業者の経営改善支援

- (1)経営改善計画作成支援
- (2)技術経営分析による経営発展支援
- (3)法人化の推進
- (4)家族経営協定の推進
- (5)労働力確保取組支援



3 女性農業者の育成・支援

- (1)次世代女性農業者の育成
- (2)女性農業者組織活動支援

【対象】

- ・若手女性農業者 10人
- ・きらり農おごじょ 7人
- ・さつまファームレディ倶楽部 17人

04 取り組んだ活動

- (1) 若手女性農業者組織の育成
(令和7年度女性農業者チャレンジ活動事業の導入)
(各種研修機会の提供)
- (2) ベテラン女性農業者組織の支援
- (3) 課題解決能力の向上支援
(スペシャリスト派遣等による個別支援)



04-1 若手女性農業者組織支援（きらり農おごじょ）



R7年度の活動について打合せ中

規約と役員体制を整備（組織として形を整える）

→ 令和7年度女性農業者チャレンジ活動事業の導入（国庫）

04-2 資質向上研修（先進地視察研修）



南大隅町 後藤千佳子氏

04-2-1 資質向上研修（研修参加者の声）

チャレンジ精神の大切さも知り、自分ももっといろいろなことに挑戦していかなければならないと思う。

私ももっと事業に自信をもって、ストーリー性や計画の明確化に力を入れて米づくりをがんばってやっていきたいです。

今回お話を聞いたことを真似して、目標を立てて一歩ずつやっていきたいと思いました。とてもいい経験になりました。

夢を実現するためには行動力と勇気が不可欠だと学びました。

自分に足りないところがたくさん発見できた時間でした。今からの人生に目標ができました。少しずつですが、明日からの行動に勇気をもらいました。



04-3 女性農業者の育成・支援（活動の悩み）

子育て世代（20～40代）は、出産・子育て
学校行事、スポーツ少年団等への対応で忙しい…
状況もめまぐるしく変化

→ 次世代女性の情報が少ない・接触機会もない

「みんなが出席できる研修」の開催が困難 → 支援が難しい

「次世代の育成は大事」

地域で活躍しているベテラン女性農業者（女性農業経営士）は心強い大きな味方！

★さつまファームレディ倶楽部からのサポート

SNSを利用して情報発信



+ ★SNSの活用

04-4 各種研修会への声かけ

県域研修会への参加「スキルアップ講座」
(対面3人, Web3人)



04-5 各種研修会への声かけ

少人数で意見交換しながら楽しい研修機会に
今後、2月にも子供たちへの食育をかねて研修予定



05-1 ベテラン女性農業者組織活動支援

さつまファームレディ倶楽部 17人



05-2 女性農業者活動交流会

さつまファームレディ倶楽部が開催する「わくわく集会」
お茶をテーマに交流会を開催



05-3 花育活動（薩摩中央高校との連携）



さつまファームレディ倶楽部 （花育部会）

・薩摩中央高校生物生産科3年生と連携して、花き農家2戸の生産現場を案内して、現状を知ってもらうとともに、交流を深めることが目的。

・将来の担い手を育成するという大きな目標。

06-2 個別支援（パソコン簿記記帳指導）

経営管理能力の向上

パソコン簿記ソフトを活用した経営管理

・経営管理のためにはまずは農業簿記の記帳から



パソコン簿記記帳
を頑張ります！
R7年の決算まで
やり抜きます！



06-1 個別支援（経営等の課題解決支援）



税理士への経営相談（法人化）



社会保険労務士から助言

後継者（若手女性）と今後の経営改善方策について専門家を交えて検討

かごしま農業経営・就農支援センターと連携

07 活動成果（R7年度）

◇ 資質向上に向けた機運の高まり

・各種研修会の開催及び女性農業者の資質向上及び課題解決支援

① 専門家派遣による個別相談対応 2戸

② 新規パソコン簿記記帳 1名

◇ 若手女性農業者組織「きらり農おごじょ」への支援

・新たな会員候補者の確保

・女性農業経営士候補者の確保

◇ 女性農業者組織活動支援

・若手女性農業者へのサポート役としての組織支援

・県農山漁村女性活動功労者表彰 1名



08 今後の課題と活動方向

- 1 次世代を担う若手女性農業者の掘り起こし
（「サイレント農業女子」の見える化）
- 2 若手女性農業者組織「きらり農おごじょ」の支援
（活動に参加しやすい, ゆるやかな, 柔軟性のある組織に）
- 3 資質向上及び課題解決に向けた取組支援
- 4 新規女性農業経営士の育成
- 5 農業にかかわる誰もが活躍できる環境づくり

ご清聴ありがとうございました

今後も継続して活動に取り組んでいきます

